

平成25年度養豚講演会  
基調講演・特別講演プログラム

昨今の飼料高騰の中、飼料自給率の向上及び飼料コストの削減に寄与するものとして注目が集まっている飼料用米及びエコフィードについて、現状の課題や新たな可能性について、関係者間で情報を共有し、今後の利用を推進するため講演会を開催いたします。

【日程】平成26年 3月 7日（金曜日）

12時30分～13時00分 受付

13時00分～ 開会

13時10分～14時10分 基調講演（(独) 農業・食品産業技術総合研究機構  
畜産草地研究所 機能性飼料研究グループ 大森英之先生

14時20分～16時05分 特別講演（名古屋大学名誉教授 奥村純市先生）

16時10分～16時30分 特別講演（農学博士 山元正博先生（株）源麴研究所 代表取締役）

16時30分～17時00分 質疑応答

【基調講演】

演題 「エコフィードと飼料用米（粳米）の混合利用による効果」

講師 独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構 畜産草地研究所  
家畜生理栄養研究領域 機能性飼料研究グループ 主任研究員 大森英之先生

【特別講演】

演題 「発酵液体飼料の進展」ー乳酸発酵から黒麴乳酸混合発酵へー

講師プロフィール 名古屋大学名誉教授 奥村純市先生

※奥村先生は永年、栄養生理学の研究をされています。これまで世界の主要な養豚技術研究として研究されてきた乳酸発酵液体飼料に黒麴を使用することにより乳酸発酵液体飼料以上の様々な効果（消化率向上、生産性向上、健康・病気抑制、悪臭低減等）を生む革新的な技術が開発されました。この黒麴発酵技術について学問的基礎を伴って説明していただきます。

【特別講演】

演題 「黒麴発酵液体飼料について」 ー黒麴発酵飼料の開発経緯、黒麴について、他ー

講師プロフィール 農学博士 山元正博先生（株式会社源麴研究所 代表取締役）

※山元先生は「黒麴発酵液体飼料」の開発者であり、焼酎用黒、白麴菌の発見・命名者である河内源一郎を祖父に持ち、現在、種麴製造会社を含むグループ企業の経営の傍ら各地での講演会活動も精力的に行われています。「黒麴発酵液体飼料」の製造特許も取得し、グループ内でこの養豚法で飼育する養豚場も運営されており、そのあたりの実例を聴講できるととても有意義な内容です。

【主催】：茨城県養豚協会 県南地区養豚協会

【共催】：一般社団法人食品リサイクル推進協議会、

【協賛】：株式会社源麴研究所、株式会社鶏卵肉情報センター（月刊養豚情報/発行所）